

**2019年7月29日(月)**

**中央図書館 講演会 科学あそび**

**「羊のおくいもの～カラフルフェルトボールと原毛の標本をつくろう～」**

**小学生を対象に、科学あそびを開催しました。**

**科学読物研究会会員の坂口美佳子(さかぐち みかこ)先生より羊の特徴を学び、羊の原毛標本とカラフルフェルトボールを作成しました。**



**最初に、先生が「羊ってどんな生き物かな？」と問いかけました。子どもたちは自分の知っている羊を一所懸命に思い出し、羊の絵を描きます。**



**「いいね！毛がもこもこの特徴がよく出ている」**

**「この羊は“つの”が生えているね、よく知っているね！」**

**先生は教室を回りながら、子どもたちの絵にコメントをしてくださいました。**

**次は羊クイズ！「羊の目はどれでしょう？」**



**先生が3枚の絵を見せると、「これは違う」「きっとこれだよ」と、子どもたちの声がたくさん返ってきました。羊の口、角についてもクイズをしました。**

**それから、羊の原毛を観察します。刈ったままの原毛は、とっても大きくて、巻いてあったものをくるくると広げると、野性味のあるにおいが！**



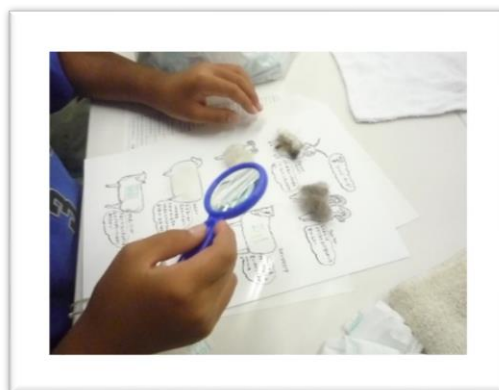
**びっくりして鼻をつまむ子もいました。**

**「触ってみたい人は触ってみましょう」と先生が言うと、そっと手を伸ばす子がひとり、ふたりと出てきて、多くの子どもが触っていました。**

続いては原毛の観察です。白くてフワフワの毛、茶色っぽい毛・・・



虫眼鏡で観察しながら、  
7種類の羊の毛を使って、  
標本を作りました。



羊の種類によって、毛の色、さわりごちが  
違うことが分かりました。

さらに、羊の毛と他の動物の毛を比べます。  
先生が持ってきた毛の標本にはウシ、ネコ、イヌの身近な動物たちに加え  
て、なんとペンギンやパンダもいました。

「ネコの毛は短い」  
「ウシの毛は？」  
「ヒトの毛は？」  
みんなでじっくり  
観察します。



羊の毛と、綿などほかの素材の性質との違いについても学びました。

たとえば「燃えやすさ」については、  
「昔のお殿様は、火事の時、燃えにくいフェルトの  
マントを着ていました。でも、周りの家来に、高級  
な羊の毛のマントは用意できないので、綿の服に  
水をかけて燃えないようにしました。」というお話  
に、子どもたちは真剣に聞き入っていました。



**羊の毛についてよく学んだら、カラフルフェルトボール作りの開始です！**



**好きな色の羊毛を選んだら、芯となるフェルトにくるっと巻き付けて、手でよくなでつけます。**

**ビニール袋に入れ、先生から石けん水をかけてもらって、ひたすらもみます！！**

**石けん水の効果で毛が縮み、しっかりとした形になっていきます。**

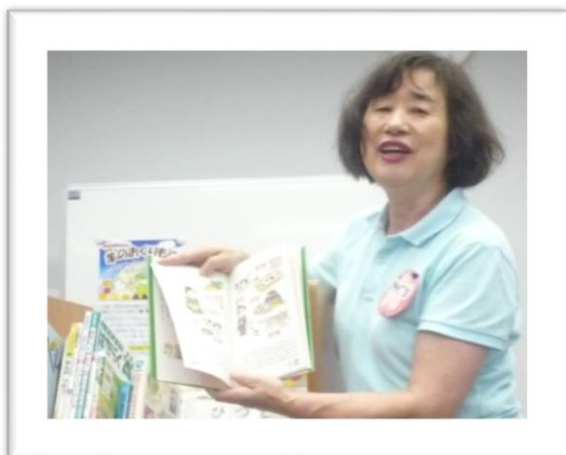
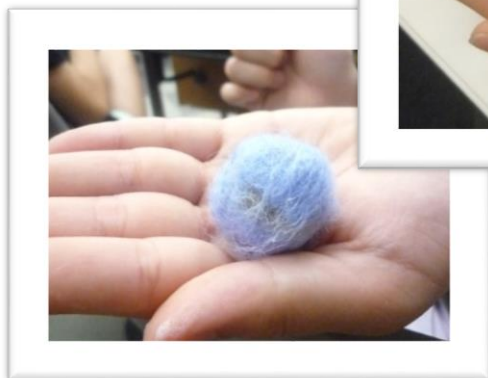
**ビニール袋から出して、先生に仕上げをしてもらって…完成！**





**きれいな色のフェルトボールができました。**

**それぞれの違いが楽しいですね！**



**最後に、先生おすすめの本を  
たくさん紹介してもらいました。**

**次のページに、紹介した本のリストが  
載っています。**

**リストにある本は、図書館で借りるこ  
とができます。**

**ぜひ、また図書館に来てくださいね！**